

NASU-MATERIAL Corporation Environmental Report

<http://www.nasu-material.co.jp>



環境報告書2021

那須マテリアル株式会社



環境報告書の作成にあたって

この環境報告書は、当社における環境に関する活動の成果をとりまとめ、公表するものです。

環境報告書対象期間

2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月31

当社の2020年度の活動をまとめたものです。

環境報告書対象組織

那須マテリアル株式会社 本社 栃木県大田原市
東北事業所 福島県西白河郡西郷村

発行 2021年 8月

CONTENTS

1. 会社概要	3
2. 工場及び業務の内容	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組み-1	6
EMSの取り組み-2	7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再生資源化	9
7. 地球温暖化抑制対策	10
8. 地域社会への取り組み	11
9. その他の環境活動	11

1. 会社概要

商号	那須マテリアル株式会社	
所在地	本社工場	栃木県大田原市北金丸2122番地（産業廃棄物処理施設）
	東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175番5
創立	1997年 9月 9日	
資本金	5600万円	
代表者	代表取締役	星 彰治

● 沿革

会社履歴

1997年	9月	那須マテリアル株式会社を設立。	2013年	2月	太陽光発電事業（第一期）の開始。	
2000年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	2013年	4月	太陽光発電事業（第二期）の開始。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を取得。		12月	東北事業所にて太陽光発電事業の開始。	
2002年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	2014年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得。			福島県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
2003年	6月	星 彰治が代表取締役に就任。	2015年	2月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
2004年	11月	I S O 14001の認証を取得。			茨城県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
2005年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	2016年	2月	太陽光発電事業（低圧第四発電所）の開始。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。			太陽光発電事業（低圧第一発電所）の開始。	
2006年	4月	福島県にシリコンの選別・検査・加の施設として東北事業所を開設。	2016年	10月	太陽光発電事業（低圧第二発電所）の開始。	
	9月	一般労働者派遣事業許可を取得。		2017年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬許可を更新。
	10月	群馬県産業廃棄物収集運搬許可を取得。				栃木県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。
2007年	8月	I S O 27001の認証を取得。	2017年	3月	栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。	
	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を新。			栃木県産業廃棄物処分業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新。			群馬県産業廃棄物収集運搬許可を更新。	
2008年	12月	郡山市産業廃棄物収集運搬許可を取得。	2018年	8月	古物商許可取得。	
2009年	2月	福島県西郷村の東北事業所を増築。		10月	風力発電事業（低圧第一発電所）の開始。	
		栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。		2018年	1月	栃木県において、移動式破砕機の産業廃棄物処理施設設置許可を取得。
2010年	3月	栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。	2018年		1月	栃木県産業廃棄物処分業の取り扱う種類に木くずを追加。
		9月		茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。		6月
	4月	廃掃法改正のため、宇都宮市と郡山市の産業廃棄物収集運搬業の許可が各県知事の許可と合理化。	2018年	12月	風力発電事業（低圧第三発電所）の開始。	
2011年	10月	栃木県産業廃棄物処分業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。		2019年	12月	静岡県掛川市に太陽光発電施設（高圧）を取得。
		栃木県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	2019年			12月
		群馬県産業廃棄物収集運搬許可を更新。		2019年	12月	
福島県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。						

2. 工場及び業務の内容

■本 社 工 場

所在地 栃木県大田原市北金丸2122

敷地面積 31,712㎡

- 業務内容
- OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル
 - 太陽光、風力を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械器具の販売、設置
 - 建設資機材・環境機器のレンタル事業



■東 北 事 業 所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5

敷地面積 3,012.74㎡

- 業務内容
- 鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル
 - シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買
 - 太陽光を使用した発電業務、電力の販売

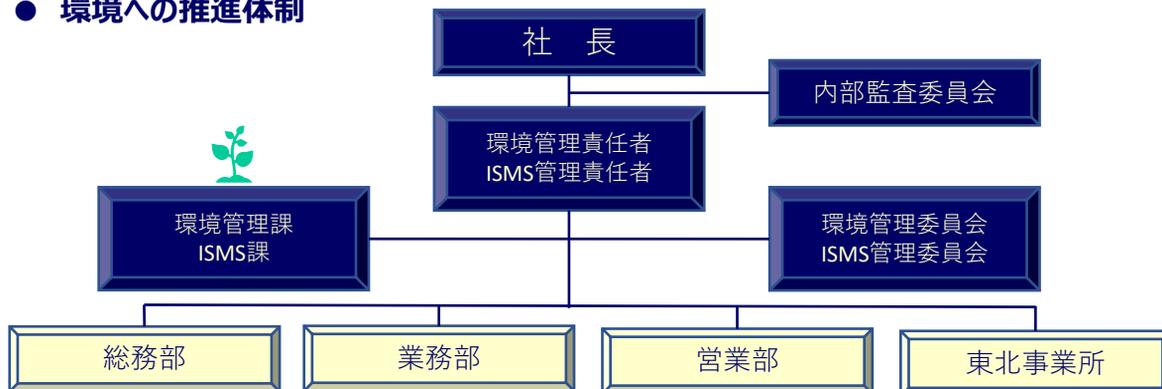


● 事業許可一覧

許 可	許可機関	許可番号	許可年月日	許可有効期限
産業廃棄物処分業許可	栃木県	☆ 920068280	平成30年2月2日	令和6年3月26日
産業廃棄物収集運搬業許可	栃木県	☆ 910068280	平成29年3月9日	令和6年3月8日
産業廃棄物収集運搬業許可	福島県	☆ 707068280	平成26年12月26日	令和3年11月19日
産業廃棄物収集運搬業許可	群馬県	☆ 1000068280	平成30年10月6日	令和7年10月5日
産業廃棄物収集運搬業許可	茨城県	☆ 801068280	平成27年11月9日	令和4年9月12日
産業廃棄物処理施設設置許可	栃木県	45-1	平成30年2月2日	期限なし
古物商許可	栃木県公安委員会	411080000911	平成29年8月8日	期限なし
労働者派遣事業許可	厚生労働大臣	派09-300101	平成18年9月1日	令和6年8月31日

☆マークは優良産廃処理業者認定制度により適合認定を受けております

● 環境への推進体制



● グループ会社



PRETEC ENGINEERING SF
プレテックエンジニアリングエスエフ

栃木県那須塩原市三区町531-1
<http://pesf.co.jp/>



秋田マテリアル株式会社

本 社：秋田県にかほ市平沢字深谷地16-8
三森工場：秋田県にかほ市三森字高田20番地
<https://akita-material.com/>



N's HOLDINGS
エヌエスホールディングス株式会社

本 社：福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5
大田原支社：栃木県大田原市北金丸2122

3 . 環境方針.

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光、風力の発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生の「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 1. 太陽光発電、及び、風力発電業務における電力の供給を行い、自然エネルギーの有効利用を推進します。
 2. 省資源・省エネルギーの推進、環境負荷の軽減に努めます。
 3. 収集運搬車両の燃費向上に努め、CO2排出を抑制するよう、エコドライブを心がけます。
 4. 再生入荷物及びリサイクル品の資源・素材の再利用及び再生利用を行い、有効利用を促進します。
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていきます。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2018年 3月 9日

那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰治

4 . EMSの取り組み - 1

● 環境目標一覧

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 17年度目	
				2020年度目標 期間：2020年4月 ～2021年3月	目標量等
Ⅰ 省エネ・省資源対策	1.電力使用量の削減 (100V,200V)	事務所の照明,事務機器,業務部門関連の施設設備（プレス機）等の稼働に伴う電力の消費 Co2削減目標に置き換えて集計する	本社2018年度 使用実績値 38,885kwh 東北2018年度 使用実績値 18,991kwh 合計： 57,876kwh	■CO2排出削減目標に置換える	
	2.軽油の消費削減	業務部,東北事業所,業務部門の使用トラック	2018年度実績 5,304L		
Ⅱ 排出物対策	3.CO2の排出削減	「電力」「軽油」「ガソリン」「LPガス」「灯油」の使用に伴うCO2の排出	2018年度実績 51,965kgCO2	■目標：基準値比 1.0%削減	51,445kgCo2
Ⅲ 緊急時対策 施設・設備の	1.収集運搬業	トラック,建物や人身等への接触事故,荷積み・荷降ろし時の荷物の落下事故,積雪時に横転・接触事故,油圧ホースからの油の漏洩事故	2019年度 緊急事態件数 1件	■目標：0件	
	2.業務用トラック関連の予防保全	荷物の落下、飛散、人身、物損事故	2019年度 緊急事態件数 1件	■目標：0件	
Ⅳ その他環境に有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進		2018年度実績 1,269,756Kg	■基準値比 3.0%増加	1,307,849
	2.会社周辺のクリーン活動		2018年度実績 2回	■目標実施回数	2回/年
	3.再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減		2018年度実績 636,479 kgCO2	■実績値の集計の実施。	
	4.新規アイテムのリサイクル業務		TOP SECRET	TOP SECRET	
	5.太陽光パネルの洗浄		一部発電所にて トライアル実施	■近隣太陽光発電所のうち 一部の洗浄実施	

2019年度内は、収集運搬車両による軽微な接触事故、及び荷物積み込み作業中のフォークリフトによる破損事故が発生。影響評価の結果、「施設・設備・作業関連の緊急時対策」の「収集運搬業」「業務用トラック関連の予防保全」を登録し、目標値を設定した。

4 . EMSの取り組み - 2

● 環境活動実績と推移 (全社)

環境目的		2020年度基準値	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	実績結果
省エネ・省資源対策	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減 軽油の消費削減 CO2の排出削減 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出基準値 51,965 kg-co2 	2018年度 削減目標値より 0.7%増加 目標値未達成	2019年度 削減目標値より 11.9% 削減 目標値達成	削減目標の目標値 (基準値より1%削減) 11.4% 削減 目標値達成	CO2の算出計算については、環境省の「温室効果ガス排出算定・報告・公表制度」及び「電気事業者別の排出係数」等を用いて算出。 近年の取引状況等を鑑み、2019年度の基準値を参考に目標値を算出した。CO2排出量算出項目としている5項目の使用実績値のうち4項目については、ほぼ例年通りであったが、軽油の使用量が、年度途中から年度末に向けて減少したため、CO2の排出量についても減少したのと思われる。
	施設、設備、緊急時対策 作業関連の	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬業 業務用トラック関連の予防保全 	2019年度 緊急事態発生件数 1 件	緊急事態発生件数 0 件 登録なし	緊急事態発生件数 1 件 登録なし	緊急事態発生件数 0 件
その他環境に有益な項目	<ul style="list-style-type: none"> 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 	2017年度実績 1,269,756kg	2018年度目標値より -11.0%減少	2019年度目標値より 3.0%増加	2020年度目標値 (基準値より3%増加) 19.7%増加	2017年度の実績値を基準値とし、目標値を設定した。前年度と比較した場合、同アイテムのほとんどは前年度の取扱量とほぼ変化がなかったが、内1アイテムの取扱量が増加傾向にあった。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減 	2019年度実績： 619,310kg-CO2	実績集計の実施 2017年度実績を 基準値として 0.43%削減量UP	実績集計の実施 2018年度実績を 基準値として 0.14%削減量UP	実績集計の実施 2019年度 実績を基準値として 39.2%削減量UP	再生可能エネルギーによる発電量の集計について、従来は本社、東北の発電のみ対象としていたが、今期より当社が取得している風力発電や他県の高圧発電所における発電量についても集計に加えた。その為、大幅にCO2削減量が増加した。
	<ul style="list-style-type: none"> 新規アイテムのリサイクル業務 	TOP SECRET	TOP SECRET	TOP SECRET	TOP SECRET	-
	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電所のパネル洗浄 	本社近隣発電所のうち一部洗浄の実施	-	本社近隣の発電所の洗浄をトライアルで実施	本社近隣発電所のうち一部洗浄の実施	環境影響評価の結果、今期より「有益な項目」へ追加した。太陽光モジュールの洗浄について、計画的に実施し、引き続き発電効率UPをはかる。

5 . 教育訓練

● 教育訓練計画

教育名	教育の内容	対象者	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育Ⅰ・Ⅱ	・EMS概要 ・環境マネジメント活動全般 (方針、目的目標、EMP等含む)	管理者・一般従業員全員 (本社・東北事業所)	6～7月	環境管理課 部門責任者
2.特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	適用者全員 (本社・東北事業所)	6～7月	部門責任者 推進リーダー
3.専門教育	環境内部監査員養成講座	内部監査員候補者(1名予定)	9～10月	外部講座
	環境監査員ブラッシュアップ教育 (監査の前の訓練)	内部監査員新人メンバー		内部監査リーダー
4.顧客要求事項教育	顧客先における環境安全教育の受講と社内における周知	該当部門責任者 関連作業従事者	1回/年	該当部門責任者
6.その他	産業廃棄物処理、再生利用に関する教育	関連従事者 (グループ会社も含む)	10月～11月	環境管理責任者
	太陽光発電所に関する維持管理教育	関連従事者	9月～10月	業務部門長
7.防災訓練 緊急事態対応訓練	防災訓練 今期特定している緊急事態について 緊急事態発生時での対応及び処置 緊急事態の実際の訓練	全従業員 緊急事態が想定される業務に従事している従業員 (本社・東北事業所)	9月～10月	環境管理課 部門責任者

● 教育訓練記録



一般教育・特定教育



防災訓練



グループ会社も含めた合同教育



オンラインにて外部講習受講

当社では、毎年教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上を図っております。

また、教育効果をより向上させるため、少人数のグループを形成して実施しております。

2020年度は、グループ会社も含めて、関連業務についての教育訓練を実施致しました。

新型コロナウイルスの影響もありましたが、オンラインにて外部講習を受講し、例年通り教育訓練を実施することが出来ました。

7 . 地球温暖化抑制対策

● 太陽光発電所のパネル洗浄

本社太陽光発電施設の発電効率アップのため、外部委託にて一部パネル洗浄を実施しました。



那須マテリアル高圧発電所 パネル洗浄効果 比較表

洗浄期間 2020年9月24日 ~ 9月30日

※同発電所内において、当該箇所の発電予測値と発電実績値から算出した値を増加率とした。



洗浄後経過期間		月間増加率(%)		累計増加率(%) 10/1~各期間	
		未洗浄箇所	洗浄済箇所	未洗浄箇所	洗浄済箇所
1ヶ月	10/1~10/31	4.320	6.249	4.320	6.249
2ヶ月	11/1~11/30	4.995	12.429	4.660	9.283
3ヶ月	12/1~12/31	5.099	16.916	4.800	11.614
4ヶ月	1/1~1/31	4.165	14.134	4.640	12.232
5ヶ月	2/1~2/28	3.340	7.582	4.307	11.018
6か月	3/1~3/31	2.984	2.902	3.995	9.018
7ヶ月	4/1~4/30	3.053	0.440	3.792	7.092
8か月	5/1~5/31	2.648	(0.559)	3.609	5.821

日照等様々な影響は考えられるが、洗浄後の2ヶ月～4ヶ月間は未洗浄の箇所に比べると、洗浄済の箇所の増加率の方が、大きく上回った。洗浄から8ヶ月後の累計増加率を見ても、洗浄済箇所の方が未洗浄箇所よりも上回る結果となった。

8 . 地域社会への取り組み

● クリーン活動

一定期間ごとに、本社及び東北事業所の従業員が、工場周辺のクリーン活動を実施しています。



● 地域プロスポーツチームの支援

当社では、地域活性化を目的とし、栃木県のプロバスケットボールチーム「宇都宮BREX」のオフィシャルスポンサーとして、チームを応援しています。



私たちは宇都宮BREXを
応援しています

宇都宮BREX ホームページ

<https://www.utsunomiyabrex.com/>

9 . その他の環境活動

● 東京電力による省エネサポートの導入

新エネマネシステムの3つのポイント

1

電気を分かりやすく「見える化」

1. Web、携帯アプリで電力の見える化、メール通知
2. グローバル利用に対応した最先端IOT無線通信機能搭載

2

省エネレポートをお届け

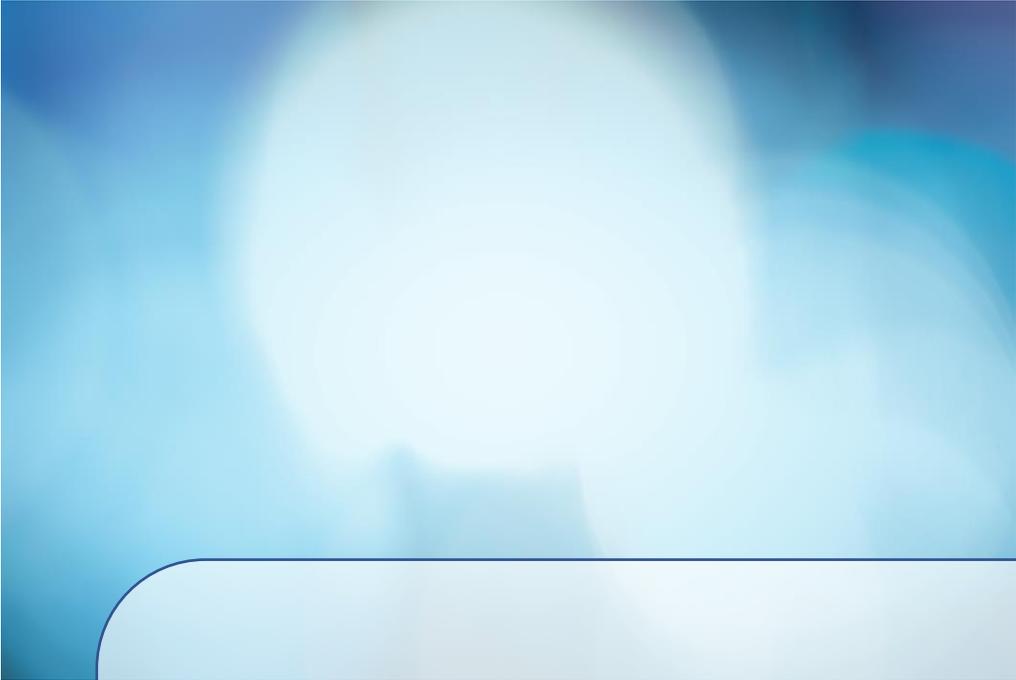
1. エネルギーの現状把握分析が可能に！
2. 3か月に1度「TEPCO 省エネレポート」をお届け

3

ピークオーバー補償特約

1. 一時的なご利用で最大デマンドが出た場合も安心！
2. ピークオーバーによる増加額をキャッシュバック！
※契約電力は修正されません。





那須マテリアル株式会社は、事業活動及び
この環境報告の情報開示を通じ、
地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確
保に今後とも努めて参ります。

2021年 8月

代表取締役

